



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年6月26日

我孫子市小中一貫教育だより

第334号



我孫子市マスコットキャラクター
「手興沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ふるさとの共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「我孫子の先人 ～嘉納 治五郎～」

6月20日に湖北台西小学校の5年生で Abi-ふるさとの授業が行われました。この学習では、嘉納治五郎の「柔道の父」としての功績及びその生き方や精神について理解することが目標です。

初めに、先生が準備してくれたクイズや動画で、柔道が日本発祥のオリンピック競技であることや治五郎の別荘が我孫子市にあったことを知りました。次に、補助教材『ふるさと我孫子の先人たち』を読み、嘉納治五郎がどんな人だったのか、どんなことをしたのかについて学びました。柔道の精神やアジアで初めてのオリンピック開催を願った治五郎の思いに触れ、治五郎の生き方について考えました。



授業の振り返りでは、「嘉納治五郎は強さと優しさを備えたすごい人。こんなすごい人が我孫子にいたなんて嬉しい。」「自分も柔道の精神である精力善用を意識すれば、友達と上手に関わっていけるのかな。」など我孫子市を誇りに感じたり、自己と向き合ったりする感想が見られました。



小学校5年から中学校2年までは、毎年3人ずつ我孫子の先人について学び、中学校3年では、興味を持った先人について調べ学習を行います。そのスタートにふさわしく今後も楽しみになる授業でした。

Abi-ふるさと「我孫子の先人」～松岡 鼎～



6月21日に布佐中学校の1年生2クラスで Abi-ふるさとの授業が行われました。布佐中学校では、「ふさカリキュラム」という地域の特色を生かした中学校区オリジナルカリキュラムがあります。そのなかで松岡鼎について学んでいたこともあり、これまでの学習と関連付けながら学びを深めました。

今日の目標は、松岡鼎の生き方から「地域貢献」という視点を持ち、我孫子市や身近な地域のためにできることを考えることです。

初めに、身の回りで地域のために活動している人について考えました。その後、「医師として」「政治家として」「市民として」の3つの視点から鼎の生き方について学び、自分にできることを考えました。個人で考えたことをもとにグループで話し合い、考えを広げたり深めたりしました。

自分たちにできる地域貢献として、挨拶運動やゴミ拾いの他、地域のイベント、特にお祭りに積極的に参加したいという意見が多くの生徒から出ました。日頃から地域の方と交流しているからこそその意見だと思いました。地域のなかで、自分らしく豊かに生きる力が育まれていると感じる授業でした。

